

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族会と連携をとる	家族支援、共働。一人でも多くの家族さんの家族会参加と、話し合える場を作る。	協力して勉強会や行事・認知症サポーター養成講座を行う。行事、特に旅行への参加を呼びかける。賛助会員を増やす活動も行う。	12ヶ月
2	35	災害対策を意識する	避難経路・通路を整備する。最重要は何か、今何をすべきか、緊急時に判断できる職員になる。	災害時のシュミレーションができる職員になる。イマジネーションを大切にすること。	3～6ヶ月
3	2 3 14	他施設と協力し介護のネットワークを作る	他施設との交流。他の施設の問題点～すばらしい所を探る。つながりを作る。	わたしにできることプロジェクトへの参加。他施設行事への参加。外へ出て学ぶ機会を作る。自分の意見を他社にしっかり伝えられる人になる。	12ヶ月
4	34	職員勉強会の充実	人前で話す、人に伝えることができるようになる。丁寧な言葉遣いと知識を伸ばす。勉強する癖をつける。本を読む。意見を持つ。	2ヶ月に一度の管理者と職員で順番に勉強会を担当する。会議では必ず発言する。	12ヶ月
5	2 4	行事の充実	入居者・家族・地域の方・全員で心に残る行事に取り組む。日常にない一日を、夢のような時間にするため、全力で取り組む。	子供たちから、入居されている方まで、広い世代が楽しめる行事を計画し実行する。歌う！踊る！ 思いっきり楽しむ。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。